



平成 27 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社メディア工房  
(コード：3815 東証マザーズ)  
代表者名 代表取締役社長 長沢 一男  
問合せ先 取 締 役 酒井 康弘  
(TEL. 03-5549-1804)

### 特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 4 月 10 日付開示「子会社の吸収合併に伴う特別損失（抱き合わせ株式消滅差損）の発生に関するお知らせ」にてお知らせいたしました特別損失の計上の他、平成 27 年 10 月 9 日（金）に開催した取締役会にて、一部既存事業の事業整理を行うことを決議し、これにより発生する費用等を特別損失として計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 特別損失の内容

平成 27 年 4 月 10 日付開示「子会社の吸収合併に伴う特別損失（抱き合わせ株式消滅差損）の発生に関するお知らせ」にてお知らせいたしました 196 百万円の他、事業の収益性を長期的な視点で精査した結果、今後期待される収益が見込まれないと位置づけられる D P G 事業並びにギフトカム事業を事業整理することに決定し、平成 27 年 8 月期連結会計年度において、単体及び連結に特別損失を計上いたしました。

なお、単体における子会社の吸収合併に伴う特別損失に関しては、当該消滅会社は、当社の 100%連結子会社であったため、連結会計上の税金等調整前純利益までの影響はございません。また、合併に伴い欠損金を取り込んだことから、当期に係る法人税等の納付額が減少する見込みです。

#### (1) 特別損失の金額

単体	特別損失の内訳	金額（百万円）
	抱き合わせ株式消滅差損	196
	事業整理損	145
	合計	342

連結	特別損失の内訳	金額（百万円）
	事業整理損（本社単体）	145
	事業整理損（子会社）	24
	合計	169

#### (2) 発 生 日 平成 27 年 10 月 9 日（金）

## 2. 今後の見通し

本特別損失の計上に関しましては、平成 28 年 8 月期における事業展開において当社の主力事業である占いコンテンツ事業に続く、第 2、第 3 の事業の精選及び育成のために必要な整理であると考えております。

今後は既存事業の売上の拡大を図るとともに、新規事業への参入による新たな収益基盤の確保に注力して参ります。なお、今後の見通し等の詳細に関しましては、平成 27 年 10 月 9 日付開示「平成 27 年 8 月期決算短信」及び平成 27 年 11 月 25 日提出予定の「平成 27 年 8 月期 有価証券報告書」をご参照ください。

以上

(参考) 当期連結実績及び前期連結実績

(百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結実績 (平成 27 年 8 月期)	2,427	268	216	86
前期連結実績 (平成 26 年 8 月期)	2,482	645	633	327